



木村大使のカーボデルガード州公式訪問

3月10日～11日、木村大使は、カーボデルガード州を公式訪問し、草の根無償資金協力の「メクフィ郡ムレブエ行政地区フェベレイロ村における産院建設計画」署名式及び「アंकアベ郡メトロ保健センター太陽光電化計画」の開所式に参加しました。日本の協力で、同州アंकアベ郡にある「メトロ保健センター」でソーラーパネルを使用して電力を発電し、安定的に電力を得ることができるようになりました。また、2022年4月には、メクフィ郡に産院が新たに完成し、周辺に住む1020人以上の住民が安心して子供を産める環境が整うこととなります。

公式訪問の中で、アルミンド・ングンガカーボデルガード州国務長官やヴァリージ・タウアボ州知事と懇談を行い、同州における国内避難民の状況について意見交換を実施しました。

また、日本が国内避難民の保護のため、緊急無償資金協力で資金供与した国連世界食糧計画（WFP）プロジェクト、赤十字国際委員会（ICRC）プロジェクトの現場を視察しました。さらに、令和元年度補正予算で実施した国連開発計画（UNDP）「モザンビーク共和国カーボデルガード州の脆弱な地域及びサイクロン被災地域における社会安定化、紛争予防及び平和構築」プロジェクトの裨益者である住民との意見交換も実施しました。